

〔様式 2-1〕

都立 三宅 高等学校 グランドデザイン構築マップ

【現状の把握と目指す生徒像】

【生徒の現状】

生徒の規範意識は高く、学年が上がるにつれて団結力もあがり他者を思いやり、よりよい集団を築こうとする生徒が多い。また、総合的な探求の時間や課題研究の発表は地域の人たちを巻き込んだプロジェクトを立ち上げ、その発表の完成度も高い。こういった良い成果を生み出している現在の教育活動を客観的に分析し継続していくシステムを構築する必要がある。

【学校教育を通じて育てたい生徒の姿】

「郷土を愛し 課題と向き合い 他者と協働して 解決へと導いていく人」



【組織体制】

【作成まで】

校長のリーダーシップのもと教務部を中心とした「グランドデザイン作成委員会」を発足し、委員会が中心となり、原案を作成した。同時に校内研修会を開きカリキュラム・マネジメントとグランドデザインの意義について全職員で共有し、原案についての検討を行った。検討後、完成したグランドデザインは企画調整会議での承認を得て校長が最終確認を行い、職員会議で全職員に共有された。

【今後の取り組み】

教務部を中心として、全教職員で教育活動の質の向上を図り、カリキュラム・マネジメントを実施する。

【育成すべき資質・能力と教育目標の見直し】

【育成すべき資質・能力】

- 「郷土理解」・・・郷土の実態について理解し、島を離れてもなお、郷土を想うことができる感性のこと。
- 「コミュニケーション力」・・・他者と意思疎通をし、目的達成に向かって協働することができる力。
- 「規範意識」・・・自分が置かれている状況を理解し、ルールを遵守しながら集団の結束力向上に寄与できる力。
- 「自己肯定力」・・・自己の長所・短所を理解しながら、課題解決にむけて自己の能力を発揮し、自信をもつことができる。
- 「自主自立」・・・選択を他者に依存せずに、自分の力で判断して決断実行していくこと。



【教育目標】

- 「努力」-高い目標を持ち、自らを律し、弛まぬ努力のできる人間を育成する。
- 「信頼」-他者を思いやり、慈しむ人間愛の精神を持ち、社会から信頼される人間を育成する。
- 「継続」-英知と創意工夫により努力を継続してさらに信頼を高め、豊かな未来を開拓していくことのできる人間を育成する。

